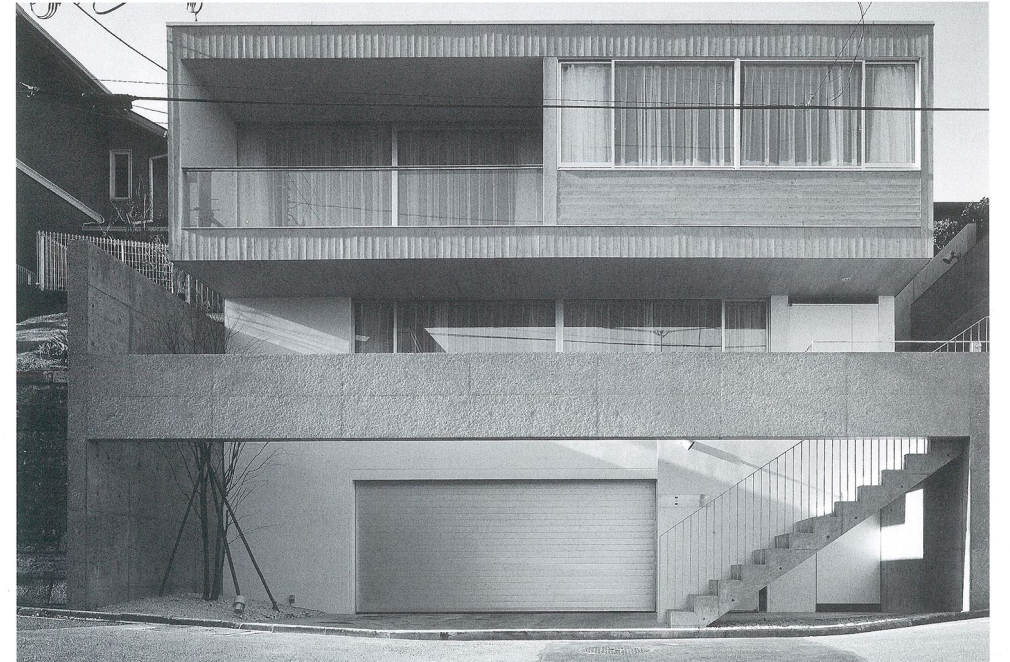
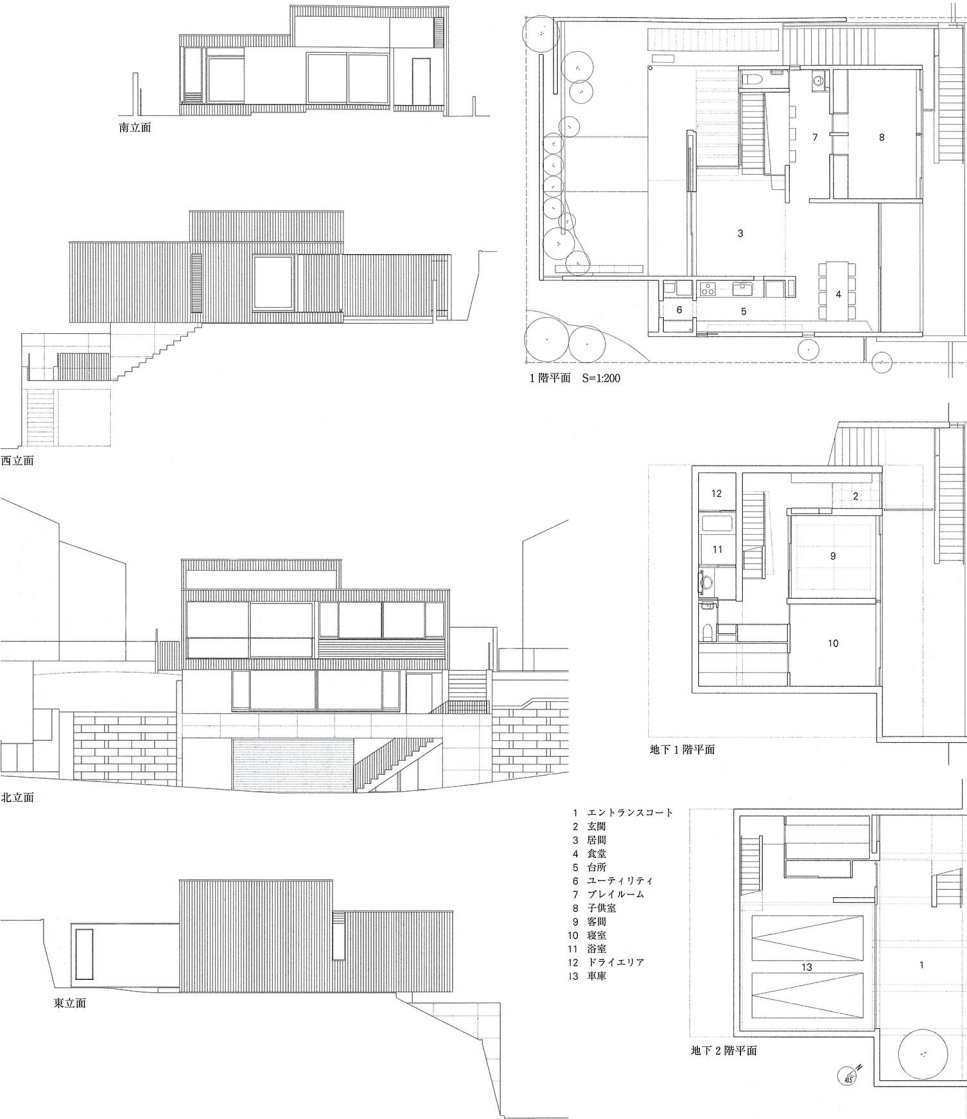


# 木の空間へ螺旋状に導く

磯子台の家 / 矢板久明 建築設計研究所 (プロデューズ: 建築プロデューズ研究所)  
HISAAKI YAITA, YAITA AND ASSOCIATES House in Isogodai, Kanagawa, 1998-2000

撮影 = 高瀬良夫

敷地は横浜の丘陵地に作られた難状の造成地にある。高さ五層の擁壁の上に住宅が建ち並ぶ中で、この住宅は下層部(地下二階)を道路より大きくセットバックし、上面にコートヤードをもつ。その上に少し前面に張り出した木の箱一層、地上二階で構成される。地主は三〇代の夫婦と二人の子供。車庫から直接入る設えと、客間、木の質感のある家を望んでいた。この計画では家族が一つの部屋に集えるよう、地上階は子どもを中心とした生活を素早く含む空間として提示されている。台所・食堂・居間・親子並んで座る勉強机など、場が流れるように無理なく繋がっている。居間の壁は外部へ延長され、庭を囲む塀となり、外部の広がりもこの一連の空間の中に取り込まれる。人の動きは自然と居間へ導かれ、地下一階の玄関から内部に導入する場合も、外部の階段を昇って庭から入る場合も、螺旋を描いて上昇する流れに自然と巻き込まれていく。家族の集う一階は、木でくまれている。主階としての役割を暗示している。地下一階は客間・寝室など、もっぱら就寝のための部屋が配置され、浴室もここに置かれる。構造体は上に行くほど段上に拡がり土圧を低減する良好な断面形となっている。一階は、正方形が二つ重ねられているだけに見える。これは、安定した意識の領域を求め、構造や機能、人の動きや関係性、光などの問題をクリアしようとした試行錯誤の結果であり、最終的には黄金比も加え、全体のゾーリウムは幾何学的なましまりまで昇華している。ここに現れたオーダーは、最初からそこにあったかのようにばらばらであった要求を一つの形に統合し、心地良い空間を家族に提供している。(本誌・若松絵無)



北側立面

<p>名称: 磯子台の家 所在地: 神奈川県横浜市磯子区 建築主: 林成行 用途: 専用住宅 家族構成: 夫婦+子供(2人) 設計・監理: 矢板久明建築設計研究所 担当: 矢板久明, 山崎佳一 構造: 構造設計社 担当: 杉浦克治 プロデューズ: 建築プロデューズ研究所 担当: 大内昌弘, 山中照彦</p>	<p>施工 建築: 建築プロデューズ研究所 (施工管理部) 担当: 大久保洋三, 坂井由美 コンクリート・土工事: 永元組 担当: 永元秀和 設備: 伊藤設備 担当: 伊藤敏則 電気: 堀江電気工事 担当: 堀江泰平, 沢井秀樹 空調: システムクリエイト 担当: 中島廣文 鋼製建具: エイベクトーヨー住器 担当: 松崎秀夫 木製建具: 千葉木工 担当: 千葉信彦 家具: ドウイン 担当: 八木利一</p>	<p>外構・造園: 箱根緑木 担当: 太平純, 福島忠雄 規模 敷地面積: 254.43㎡ 建築面積: 98.69㎡ 延床面積: 114.13㎡ (地下居室53.06㎡, 駐車場41.79㎡を除く) 建蔽率: 38.7% (許容40%) 容積率: 44.8% (許容80%) 各床面積: B2F/61.35㎡, B1F/64.38㎡, 1F/83.25㎡ 階数: 地下2階, 地上1階 階高: 2.7m 天井高: 2.94m</p>	<p>最高軒高: 5.2m 最高高さ: 7.67m 駐車台数: 2台 期間 設計期間: 1998.12-1999.12 施工期間: 2000.1-2000.12 敷地条件 地域地区: 第一種低層住居専用地域 (外縁後退前面道路から1m) 道路幅員: 並 6 m 特殊な敷地条件: 第一種高度地区, 第三種風致地区, 建築基準法第22・23条指定地域</p>
--	---	--	--

<p>構造 主体構造: 鉄筋コンクリート造 (地下1, 2階), 木造 (地上1階) 杭・基礎: 直稼基礎 (ベタ基礎) 設備 空調設備: 熱源・ガス 熱源方式 温水ボイラー 空気方式・マルチヒートポンプAC 暖房方式 TES式温水床暖房 電気設備: 受電方式 低圧受電 (1φ3W100/200V) 契約容量: 10kW 外部仕上げ</p>	<p>屋根: 改質アスファルトシート2枚貼りの上, 砂付不燃アスファルトシート (田島ルーフィング) 地下防水: タケイ進化コンクリート防水 (タケイ工業) 外壁: カラマツ難燃処理材 厚15mm土塗壁同等品 (上田第三木材) オスモカラー拭き取り, コンクリート打放しVP 開口部: アルミ (トステム), 一部木製建具, オーバースライダー (コンゴ) パースライダー (コンゴ) 外構: 植栽, カクレミノ, ソコゴ, アメリカザイフリボク, カワラ 舗床 &lt;エントランスコート&gt;</p>	<p>コンクリート研出仕上, &lt;デッキ&gt;チークデッキ材 厚15mm (コアド) オスモカラー拭き取り, &lt;庭芝&gt;芝, 砕石敷き 内部仕上げ ● 居間・食堂・プレイルーム 天井: PB 厚12.5mmAEP 壁: カラマツ 厚12mm (上田第三木材) オスモカラー拭き取り, PB 厚12.5mmAEP 床: チークフローリング 厚13mm (コアド) オスモカラー拭き取り 机・サイドボード: フィンランドバーチ積層合板</p>	<p>(コアド) 耐熱無黄変ウレタン塗装仕上 ● 玄関・地下1階廊下 天井: カラマツ 厚12mm オスモカラー拭き取り 壁: コンクリート打放し 床: ライムストーン 厚17mm (TGM), ココヤシ 厚8mm (上田敷物) ● 寝室 天井: カラマツ 厚12mm オスモカラー拭き取り 壁: PB 厚12.5mmAEP 床: カーペット・バーバスクエア 厚14mm (7スワン)</p>
---	---	---	--



居間と庭をつなぐデッキ



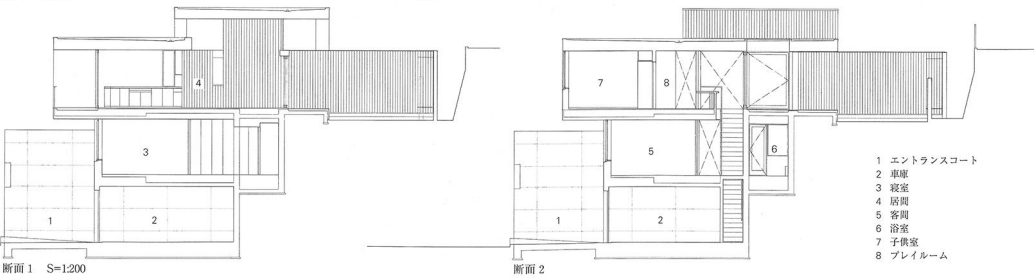
庭より居間を見る



台所より食堂を見る



居間



断面1 S=1:200

断面2

- 1 エントランスコート
- 2 車庫
- 3 寝室
- 4 居間
- 5 客間
- 6 浴室
- 7 子供室
- 8 プレイルーム



居間：北を見る

# GA JAPAN

Global Architecture

ENVIRONMENTAL DESIGN 3-4/2001

新現代建築を考える **○と×**——せんだいメディアテーク 批評座談会=伊東豊雄・石山修武・二川幸夫  
座談会=「戸建て住宅の現実と未来」/川元邦親・太原豊・古谷誠章・小嶋一浩 住宅作品=石山修武 竹山聖  
古谷誠章 宮本佳明 矢板久明 米田明 前田紀貞 ph SCAPE 手塚貴晴+手塚由比 山口誠 久富敏明

連載=GA SCHOOL/磯崎新 佐々木睦朗 論文=「建築家が住宅に関する価値」/石山修武 「アプロプリエイトする若手建築家」/五十嵐太郎

# 49

